



上手な野菜の育て方

オクラ



1 栽培時期と品種

○ 種まき △ 植え付け ■ 収穫

栽培方法	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	品種
育苗			○	△		■	■	■	■	■	■	■	ベーターファイブ エメラルド ブルースカイ
直まき				○	○		■	■	■	■	■	■	

2 栽培上の注意点

- ◆高温性の作物なので早まきをしない。
- ◆根が深く伸びるので、完熟堆肥を深くすき込み肥料切れをさせない。
- ◆大きくなったら枝や下葉をかきとって、混み合わないようにする。
- ◆幼果の育ちはたいへん早く、また緑色なので葉の陰になると取り残しがでやすいので、適期を見逃さず収穫する。

3 畝づくり・本田肥料

- ◆種まきや定植の約1か月前に、1坪(3.3㎡)あたり、基肥として牛ふん7kg、苦土セルカ2号350gを施して深く耕す。
- ◆追肥は6月中旬(開花期)から15~20日間隔で野菜専用化成150gずつ施用する。
- ◆畝は1~1.2m幅の高畝にする。

4 種まき

5月中旬以降に9cmポリポットまたは、直まきいずれも直径4~5cm、深さ1cm位の穴を作り4~5粒まいて、1cmほど土をかけ手で軽く押さえ水やりをする。

5 間引き・定植

- ◆直まきは本葉3~4枚頃生育の揃った株を2~3本残して根元から切り取り間引きする。
- ◆移植栽培は本葉4~5枚の大きさに定植する。

6 収穫

- ◆開花後7~10日くらいで、長さ6~7cmの頃が適期です。

7 防除

- ◆害虫/アブラムシ・カメムシが発生しやすい。

殺虫剤
トレボン乳剤
1000倍

総使用回数
3回

収穫前日まで使用可能
(念のため散布後
中1日あける)

参考

● 日が強くなり土が乾燥する頃に、株元に敷わらをおくとよい。

● 牛ふん堆肥をすじ条におくと肥料切れを防ぎ、雑草もひきやすい。(土の乾燥を防ぐことができる)



○オクラが曲がるのは…?

肥料不足・肥料過多・水不足・虫害・老化が考えられる。

○オクラにイボができるのは…?

日照不足・低温・肥料不足・土壌過湿が主な原因。

○オクラの肥料切れを判断するには…?

葉の切り込みが深い→肥料が足りていない
葉の切り込みが浅い→肥料が足りている